

2024年度 事業計画書

1. 自転車をつなぐ山・里・まち・海プロジェクト～環境教育によるしまなみのブランド力向上事業～
(2023年度地球環境基金助成金/3か年事業)

ナショナルサイクルルート「しまなみ海道」を主要道に、隣接する「とびしま海道」「はまかぜ海道」を結んだ広域エリアにおいて、3海道の中継拠点に位置する2拠点の機能強化を図る。拠点①ゲストハウス“なみトみなと”は地域の多様な担い手の連携を促し、サイクルツーリズムのオペレーション体制を構築する。耕作放棄地修復による拠点②“シクロ農園”は里山再生の継続と環境学習の機能整備を行う。また、二次的自然の成り立ちのモニタリングにより、山から海へつながる地形、それを基盤とした生物多様性や土地利用について、旅人と住民双方へのガイダンス機能を充実させる。ガイドと共に行う多彩な五感体験、ツールによるセルフガイダンスにより、参加者及び関係者の意識や行動の変革を促し、「経済・社会・環境」のバランスがとれた持続可能なアウトドア先進地を形成する。

上位目標：自転車の聖地・しまなみ版「地域循環共生圏」確立
山・里・まち・海つながりへの共感と旅人・住民双方のライフスタイルシフト

アウトカム		アウトプット
①二次的自然の保全を基盤にした誘客プログラムの構築	・サイクルツーリズム(自転車キャンプ)の遂行	・ガイダンス、セルフガイダンスの構築 ・コンテンツ10個の育成 ・意識と行動の変容(アンケート調査・意見収集)
②山・里・街・海つながり拠点の創出	・生業や伝統文化、風習を語り、つなぐ場の構築	・「地形、自然現象、生物、営み」モニタリング ・暮らしを紐解く作業から成す絵本 ・意識と行動の変容(アンケート調査・意見収集)
③地域に確立された自転車新文化推進体制へのコミット	・「自転車旅行推進宣言」地域連携の確立	・「自転車旅行推進宣言」(全体構想)提示 ・事務局体制への支援体制 ・地域コーディネーターの育成・採算性の提示

(1) 二次的自然の保全を基盤にした誘客プログラムの構築

① 「しまなみ自転車キャンプ」募集型ガイドツアー3回実施(通常価格)*アンケート実施	→23,24年度はモニター価格で実施
② 「しまなみ自転車キャンプ」レンタルのしくみ化 レンタル用品の配備・パンフレット、マップ製作	→23,24年度レンタル商品販売化 →23年度:パンフとマップの製作 →24年度:パンフとマップの発行
③ ガイドブック「しまなみ島走ネイチャー」2,000冊の編纂 《旅行者教本》	→23年度:キャンプ地紹介と主要貸出用具 動画製作
④なみトみなと機能整備 WEBでの広報(ホームページ構築《英語化》)	→23年度より運用開始

(2) 山・里・まち・海つながり拠点の創出

調査及び研究を旅人・住民双方の参画型で開始し、文化的サービス提供拠点化の活動を開始する。

① しまなみ海道沿線のモニタリング 調査対象：水がつくる地形と暮らしの舞台(月4回) 専門家による確認と地元への報告会の実施	→23,24,25年度:継続 →23年度:セルフガイダンスツール(絵本) 「しまなみ人の営み(仮称)」製作
② 世代間交流拠点の展示機能強化 「里山の暮らし」「里山の生き物」「風土と地の利」をテーマに展示	→23,24年度:世代間交流拠点整備完了 →担い手教本のアレンジ 「水を巡るサイクリング」ポストカード
③ コンテンツ造成(モニタリング) ・世代間交流拠点の開放/地元の子どもの週末利用毎月1回 ・旅行者のツアー立ち寄りによるプログラム提供の継続	→終了後の週末利用促進体制に向けた コミュニティ構築 (経常利用のしくみ「里山クラブ」形成)

(3) 地域に確立された自転車新文化推進体制へのコミット

全体構想を明確化し、エコツーリズム推進の地域コーディネーターを養成する。

①連携促進 広域の振興協議会を含む多様な主体への説明会(1回)	→23,24年度:継続 24年度:担い手研修・宣言
②「ガイドの学習教材」による復旧啓発 「自転車旅行推進宣言」(全体構想)提示	→23年度:スタッフ教本 →24年度:担い手教本「水を巡るサイクリング」

2. サイクリスト向け情報発信コンテンツ運営管理業務（愛媛県東予地方局委託事業）

フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」やホームページ「しまなみ自転車旅の宿」の運営を通じて、瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地として広く国内外にアピールするとともに、自転車の安全な保管やメンテナンススペースの有無、外国語対応の可否など、サイクリストフレンドリーな宿泊施設情報を提供し、瀬戸内しまなみ海道を訪れるサイクリストの増加を図る。

3. しまなみ海道サイクリング体験等実施業務

今治市在住の外国人を対象にした自転車の安全講習会を行う。その後、しまなみ海道サイクリングを通して、サイクリングが楽しめる地域のポテンシャルを伝える。

4. サイクルシップとサイクリングを組合わせたツーリズム造成に向けた情報環境整備事業

（地域連携での実施）

瀬戸内ブランドのシンボル商品となる可能性が高いサイクリングと船を組合わせたツーリズムを推進する。サイクルシップの新たな着岸港の可視化及び定期運航に向けた情報提供の環境整備を行う。

① 船と自転車を組合わせた旅程の具現化に向けた受入基盤の点検

国内外のサイクリストのニーズに応え、瀬戸内をダイナミックにサイクリングできる船のモビリティ、船と自転車を組合わせるによるバリエーションある旅程の具体化に向けた基盤の点検

- (1) サイクルシップの点検：自転車を運搬しながら旅を楽しむ環境整備への助言
- (2) ルート設計：船の着岸港の提案、走力・体力に応じた船とサイクリングの行程の提案
- (3) 走行環境の点検：個人旅行者のフリープラン、トラブル対応を支援する情報発信のあり方の検討

② サイクルシップを活用した旅程構築とトラブル対応を支援する情報収集

新たな着岸港を利用したサイクルシップ運航ルート、サイクルシップを組合わせたサイクリング行程の可視化に向けた調査活動とモデルコースの提案

- (1) 定期船との差別化を図った新たなサイクルシップの航路提案と着岸港周辺の観光資源調査
- (2) サイクルシップ着岸港からのサイクリングルートの設計に向けたルート調査
- (3) 個人旅行者のトラブル対応を支援する「サイクルオアシス」等の地域の受入基盤の調査

③ サイクルシップを活用した旅程の魅力化に向けた評価（モニターツアー開催）

サイクルシップを組合わせたサイクリング行程の魅力化に向けた評価（モニターツアー開催）

- (1) 定期航路が不足するエリアでのサイクルシップモニターツアーの企画提案
- (2) サイクルシップモニターツアーの運営
- (3) サイクルシップモニターツアーの参加者の意見交換会の開催（評価）

④ サイクルシップを活用した行程構築を支援するツール開発

サイクルシップ運航ルート、サイクルシップで連絡するサイクリング行程の構築に資する可ツール作成
サイクルシップ運航とサイクリングを組合わせたツーリズムを支援するツールの制作

- (1) サイクルシップの新運航と着岸港からのサイクリングルートのパンフレット制作
- (2) サイクルシップを組合わせたサイクリング行程（モデルコース）の電子マップの制作
- (3) トラブル対応を支援するサイクルオアシス等の受入拠点の電子マップの制作

4. ライフステージに応じた自転車安全利用の啓発事業

ライフステージに合わせた自転車の安全教育について、継続的に取り組む。今年度は未就学児を対象にした「ランニングバイク」使用による活動において大切にしてきた自転車安全利用の教育的視点に加え、自転車で感じることができる冒険心、好奇心を育む「自転車ヒロバ」活動を3回程度、実施する。また、その成果発表の場となるよう、エントリー制の「ランニングバイク選手権」を開催する。もって、「しまなみ海道」を有する自転車先進都市として、自転車安全教育の充実に寄与することを目指す。

(1) 自転車ヒロバの開催

① 開催場所の検討とコース設計

- ・耕作放棄地や海辺等、里山・里海の恵みを体感できる場の開拓
- ・周回コースに設ける障害物の造作

② 自転車ヒロバの開催

- 《波方町コミュニティ組織との連携開催》 2024年7月24日(水)
- 《地元イベントとの連携開催》 2024年10月13日(日)
- 《地場産業(企業)との連携開催》 2024年11月9日(土)

(2) しまなみランニングバイク選手権の開催

日 程：2024年11月3日(日)

場 所：なみかた海の交流センター

6. なみかた海の交流センター管理運営事業(今治市委託事業)

地域住民と来街者の交流の拠点として、しまなみ海道を訪れる自転車愛好者等の立ち寄り、海事資料の展示による地場産業の振興等に取り組む。市民の創作活動、芸術作品等の発表の場「市民ギャラリー」の充実に努め、文化活動を通じた施設の認知度向上を図る。地元で開催するイベント時のトイレ利用等、旅行者、地域住民双方が気軽に立ち寄り、懇親・交流できる拠点づくりを行う。

① ギャラリー機能：海事資料館との相乗的な情報発信機能

市民の作品発表の場「市民ギャラリー」を設ける。良質な芸術・文化を通して、市民来場と施設認知を促進すると共に、観光客の回復に合わせ、地域資源の発信と市民と旅人の交流に寄与する。

② 飲食業、製造加工業：地産食材活用による地域らしい食提供機能

瀬戸内の食文化、旬の食材をいかした「シクロカフェ」の運営、製造加工に取り組む。素材をいかした調理の仕方、食べ方の提案をする講座、研修、打合せ等での利用の提案に取り組む。

③ 簡易宿所業：多様な形態に応じた宿泊提供機能

宿泊施設「なみとみなと」を運営する。宿泊者以外の来訪者の休憩、身近な自然の中で行うプログラム等とのマッチングで集客を図る。

④ 地域限定旅行業：自転車等を活用した地域回遊まちづくり機能

アウトドアアクティビティと組み合わせたガイドツアーの催行、「しまなみを自転車&キャンプで旅する」商品(レンタルサービス)提供により、サイクルツーリズムの起終点として役割を果たす。

⑤ イベント等開催事業：地域の魅力再発見につながるイベント開催

地域コミュニティの基礎的団体、今治市内の市民活動団体と連携し、地元行事や他団体の主催事業等での施設利活用を促す。

7. 簡易宿泊業

レジャーサイクリング愛好者、バックパッカー（期間の長い自由旅）などの旅人を迎え、地域の魅力を伝え、地域とつながる空間として「ゲストハウス」を運営する。短期から中長期滞在の新規顧客獲得による、地域活性化を目指す。

① しまなみゲストハウス シクロの家

「しまなみサイクルオアシス総合拠点」として、機能充実を進めながら運営する。

②Cyclo cafe and book Hostel なみトみなと

「はまかぜサイクルオアシス総合拠点」として、機能充実を進めながら運営する。

★なみかた海の交流センター管理運営事業の一環

8. 地域限定旅行業「ツアー販売」

「地域限定旅行業社」として、しまなみ海道沿線のサイクリング目的の旅行を提供する。

① 募集型企画旅行

地域を巡るサイクリング行程により、交流サイクリングツアーを行う。

■シクロ女子旅 2024

ビギナー女性が安心して参加できる女性限定ツアーにより自転車愛好者のすそ野拡大を目指すツアー。

2024年11月10日(日) 「目指せ！オリーブ畑ライド」

■タンデム自転車祭り

多様な立場のしまなみ愛好者によるタンデム自転車による交流ツアー。

2025年3月22日(土)・23日(日)

■しまなみ自転車キャンプ

しまなみ海道を自転車でキャンプする募集型ツアーの催行

「春キャンプ」2024年7月26日(金)27日(土)28日(日)

「秋キャンプ」2024年9月27日(金)28日(土)29日(日)

「冬キャンプ」2024年12月6日(金)7日(土)8日(日)

② 受注型企画旅行

旅行者(個人・団体)からの依頼により、サイクリング行程を作成し、ガイドツアーを行う。

③ガイド派遣

旅行業者の依頼に基づき、サイクリングガイドを派遣する。

9. 物品販売

しまなみ自転車旅を支える書籍やマップ、しまなみ自転車旅行の思い出となる土産等の開発、販路拡大につながる販売形態の構築(委託販売・店舗開拓・インターネットショッピング)を行う。また、商品ラインナップに合わせたブランド構築を進める。

10. 視察・研修・講師派遣

自転車を核にした観光・交流振興活動、地域活性化に資する活動に関する取組みについて依頼に基づき、学びの機会を提供する。

○視察(現地見学)：座学、施設見学等

○研修：座学、実地研修(ガイドツアー)等

○講師派遣：講演会や研修会(講師、パネリスト)、ワークショップ(ファシリテーター)等

11. 審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみ自転車進行等に関することについて、依頼に基づき、会議に参加する。

2024年度 活動予算書

2024年度特定非営利活動事業会計活動予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ

No.1

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益の部		
1 受取会費		
個人正会員受取会費	120,000	
個人賛助会員受取会費	30,000	
団体正会員受取会費	0	
団体賛助会員受取会費	0	
2 受取寄付		
受取寄付金	750,000	
施設等受取評価益	0	
ボランティア受入評価益	0	
3 受取助成金等		
受取助成金(地球環境基金助成金)	3,400,000	
受取補助金(子ども向け自転車教室等開催支援事業)	400,000	
4 事業収益		
旅行業	1,200,000	
宿泊業	15,700,000	
物品販売事業(グッズ)	10,000,000	
物品販売事業(飲食業)	4,700,000	
広告媒体作成事業	150,000	
イベント事業	300,000	
講師派遣事業	150,000	
5 受託事業収益		
サイクリスト向け情報発信コンテンツ運営管理業務	480,000	
しまなみ海道サイクリング体験等実施業務	450,000	
なみかた海の交流センター管理業務	1,164,000	
その他の委託業務	3,146,000	
6 雑収入		
受取利息	1,000	
雑収入	0	
経常収入合計	42,141,000	
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
給料手当	9,900,000	
臨時雇賃金	5,553,600	
ボランティア評価費用	0	
法定福利費	1,481,000	
人件費計	16,934,600	
(2)その他経費		
仕入高	3,015,000	
賄材料費	2,540,000	
外部委託費	2,647,040	
報償費	94,560	
印刷製本費	3,905,080	
会議費	100,000	
旅費交通費	127,000	
燃料費	222,000	
通信運搬費	621,080	
消耗品費	1,112,560	
維持修繕費	100,000	

光熱水費	1,890,000	
地代家賃	1,044,000	
使用料及び賃借料	1,606,000	
施設等評価費用	0	
保険料	137,080	
備品購入費	200,000	
広告宣伝費	0	
機器リース料	0	
減価償却費	870,000	
その他経費計	19,361,400	
事業費支出合計	36,296,000	
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	4,200,000	
給料手当	0	
法定福利費	0	
人件費計	4,200,000	
(2)その他経費		
外部委託費	50,000	
報償費	100,000	
印刷製本費	0	
会議費	30,000	
旅費交通費	0	
燃料費	50,000	
通信運搬費	80,000	
消耗品費	80,000	
維持修繕費	80,000	
光熱水費	25,000	
地代家賃	60,000	
使用料及び賃借料	20,000	
保険料	200,000	
備品購入費	0	
広告宣伝費	0	
機器リース料	0	
諸会費	50,000	
租税公課	800,000	
雑費	20,000	
減価償却費	0	
その他経費計	1,645,000	
管理費合計	5,845,000	
経常支出合計	42,141,000	
経常収支差額	0	
Ⅲ その他資金収入の部		
1 借入金収入		
短期借入金収入	0	
2 繰越金収入		
繰越金収入	0	
その他資金収入合計	0	
Ⅳ その他資金支出の部		
1 借入金返済支出		
短期借入金返済支出	0	
2 繰越金支出		
繰越金支出	0	
3 予備費		
予備費	0	
その他資金収入合計		
当期収支差額	0	
前期繰越収支差額	12,950,227	
次期繰越収支差額	12,950,227	